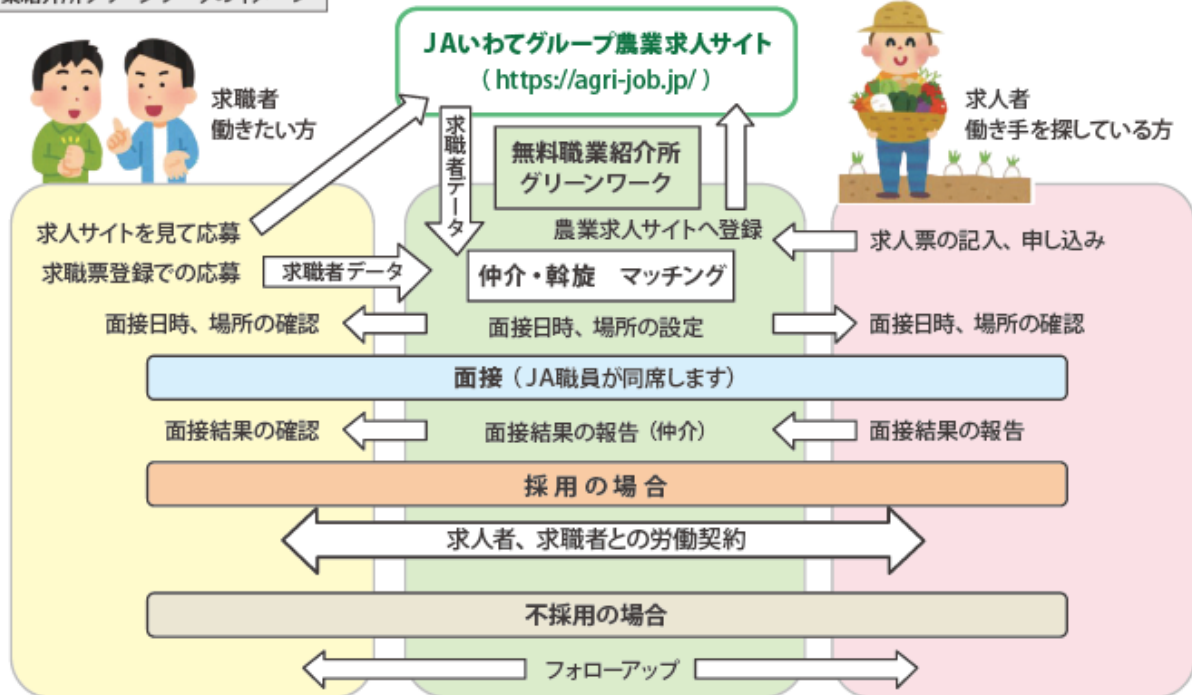


JAに無料職業紹介所グリーンワークを開設しました

JA岩手県中央会は農業求人等に特化した求人サイト「JAいわてグループ農業求人サイト」(<https://agri-job.jp/>)を開設しました。当JAでも求人サイトを活用した無料職業紹介事業に取り組むこととし、令和元年12月18日に「JAいわて平泉無料職業紹介所グリーンワーク」をJA営農振興センター内(川崎)に開設しました。

JA無料職業紹介所グリーンワークのイメージ



求人票と求職票はグリーンワーク、JA各営農経済センターへ設置していますので、求人登録・求職登録をしたい方はご活用ください。

【今後のスケジュール】

令和2年1月～3月 各部会総会等で説明
4月 グリーンヘルパー募集説明会

お問い合わせ JA営農振興課 ☎34-4001

2月に営農座談会を開催します

一関地方農業再生協議会は、2月に令和元年度営農座談会の開催を予定しています。座談会では、令和2年度に向けた水田農業の基本方針・農政対策及び生産技術情報等について説明をします。日程・会場につきましては、後日ご案内します。

生産資材
ひろば

土づくりが決める品質と収量

農業生産にとって土は大事な要素の一つです。土の良しあしが農作物の品質や収量に大きく影響します。まずは圃場の土の状態を把握し、良い土づくりを行いましょう。

1. 土づくりの必要性

豊かな収穫を得るには良い土づくりが必要です。良い土とは作物ごとに異なりますが、一般的には、①十分に根が張れる ②通気・排水性が良い ③水持ちが良く、肥料をよく保つ ④適正なpH値 ⑤微生物が多い ⑥腐植に富む ⑦異物の混入が少ないなどといわれています。

2. 土づくりの方法

- (1) 土壌分析を行い、土壌中の栄養分量を把握。作物別栽培暦などを参考に不足している成分の肥料を施用し補います。
- (2) 土壌分析結果に基づき作物に合わせたpH調整をします。

- ・酸性・苦土欠乏土壌の改良には『焼成苦土石灰』
- ・酸性土壌改良の持続には『粒状てんろタンカル』
- ・酸性土壌の改良・中和が早いのは『粒状消石灰』『防散消石灰』
- ・酸性土壌の改良・中和が緩やかなのは『タンカル』
- ・水に溶けやすい土壌への浸透性が高くカルシウム欠乏対策を求めるには『畑のカルシウム』

上記の肥料などをお薦めします。

3. 土壌病害虫の防除

土壌中の病原菌や線虫など害虫による被害は特に、連作圃場で発生しやすいので、土壌消毒で病原菌や害虫の密度を下げる必要があります。主な方法は①土壌還元消毒法②蒸気・熱水消毒③土壌消毒剤の使用があります。

土壌診断、土壌改良資材につきましてはJA各営農経済センターにお問い合わせください。